

広島大学 日本鶏資源開発プロジェクト研究センター

Japanese Avian Bioresource Project Research Center



第3回 特別セミナー

遺体科学の挑戦

東京大学総合研究博物館 教授, 作家

遠藤 秀紀



動物遺体を無制限無目的に集めてきた。ニワトリもたくさんあったが、ニワトリだけ集めてほかの動物を捨てるような真似はできない。どんな遺体にも必ず謎が隠されているからである。遺体は過去の事実を隠し持つ、歴史書なのだ。歴史は、所詮は実験室で再現できるものではない。だからこそどんな小さな事実も見逃さずに、この「歴史書」から事実をつかみ、多彩な角度で読みとらなければならない。そうすることで、すくなくとも説得力のある「からだの歴史」を語ることはできるはずだ。比較と総合で遺体に挑んだ例として



The road to the future of all dead bodies...

Photo: K. Ku